



げんせん
投信

げんせんトークラウンジ

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のもとなります。
投資元本および利回りが保証された商品ではありません。

設定・運用は



ニッセイアセットマネジメント

商号等 : ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会 : 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメントについて



私たちニッセイアセットマネジメントは、長い歴史と実績を持つニッセイグループの資産運用会社です。私たちは、機関投資家としての高度な運用ノウハウを活かし、個人や法人のお客様に幅広い商品ラインナップをご提供しています。

投資信託分野では8.2兆円、投資顧問分野では4.7兆円、合計で約13兆円の資産をお預かりして運用しています。

ニッセイアセットマネジメントの概要

2019年3月時点



資産運用の推移



げんせん投信に関わるニッセイアセットの社員



げんせん投信に関わるニッセイアセットの社員、「げんせん部員」のメンバーの一部です。
運用だけでなく、情報発信や商品開発など多くの社員が関わってげんせん投信をお届けしています。



運用担当
伊藤

- ◆最近面白かったマンガ
キングダム
- ◆好きな言葉
上方修正、打って出る



マーケット担当
松岡

- ◆好きなスポーツ
見るなら野球、するならゴルフ
- ◆好きな旅行先
ハワイ



マーケティング担当
磯井

- ◆最近ハマっていること
中国茶
- ◆最近始めたこと
ランニング



セーフティー担当
松尾

- ◆お気に入りの映画
ローマの休日
- ◆好きなお酒
カルヴァドス



マーケティング担当
林

- ◆好きなスポーツ
スキー
- ◆好きな映画
ズートピア、メッセージ

自己
紹介



マーケティング担当
谷田

- ◆好きな食べ物
麺全般（特にラーメン）
- ◆最近始めたこと
食品サンプルづくり



営業担当
池亀

- ◆最近おもしろかった本
SHOE DOG
- ◆最近始めたこと
放送大学



商品開発担当
白澤

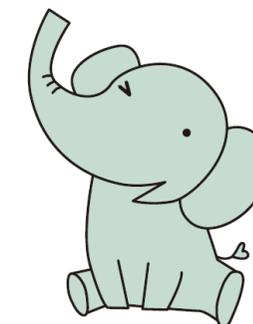
- ◆好きなスポーツ
サッカー
(川崎フロンターレ)
- ◆意外な特技
大乱闘スマッシュブラザーズ



癒し担当
モアナ

- ◆好きな場所
布団のなか
- ◆最近のお気に入り
床暖房

自己
紹介





伊藤 琢 チーフ・ポートフォリオ・マネジャー

運用経験: 16年

ニッセイアセットマネジメント在籍年数: 11年

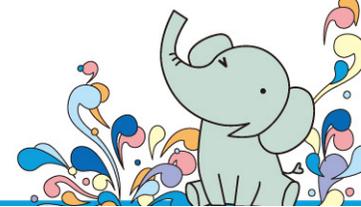
2003年レオス・キャピタルワークス株式会社アナリスト（同社創業時から在籍）。

2007年11月ニッセイアセットマネジメント株式会社に入社、日本株アナリストとして、様々なセクターの研究を担当。

2011年～2012年にはニューヨークNLI International Inc.（現Nippon Life Global Investors Americas, Inc.）へ出向し、米国株の研究を担当。

2014年より、「げんせん投信」のマザーファンドである「ニッセイ国内株式GENSENマザーファンド」の主担当ファンドマネジャーを務めている。

※運用経験・在籍年数は2019年3月末時点



今月のテーマ

インデックスファンドvsアクティブファンド、
結局どっちがいいの？

アクティブファンドとインデックスファンド



● アクティブファンド

ファンドマネジャーが独自の見通しや投資判断に基づいて、ベンチマーク※以上の収益をめざすファンドのこと。

※ベンチマーク：その投資信託が運用する際に目標とする基準。

通常、投資信託のベンチマークには一般的な指数（インデックス：株式や債券などの市場全体の動向を示す指標）が設定されます。

アクティブファンドの投資成果

= α (アルファ) : 銘柄選択や配分による損益
+ β (ベータ) : 市場全体の変動による損益

変動の要因

個々の企業の業績 など

国全体の経済成長率 など

● インデックスファンド

日経平均株価や東証株価指数（TOPIX）などの指数（インデックス）に、ファンドの基準価額が連動するような運用をめざすファンドのこと。

インデックスファンドの投資成果 = β (ベータ) : 市場全体の変動による損益

日本株ではアクティブファンドの方が有利

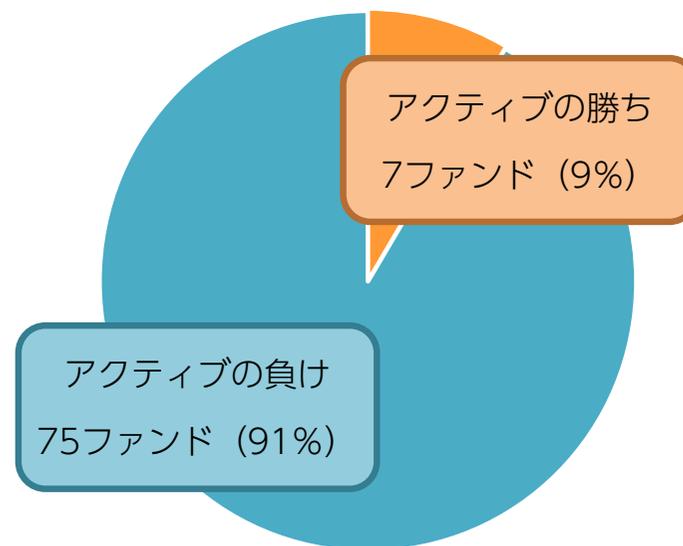
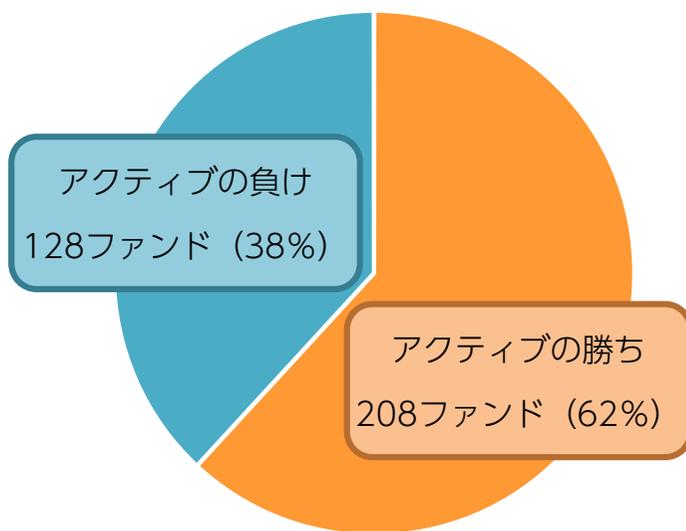


日本株ではアクティブファンドが有利

《インデックスファンドvsアクティブファンドの運用成績勝敗（2010年～2019年）》

日本株式（336ファンド）

先進国株式（82ファンド）



＜年率平均リターン＞
アクティブファンド：10.4%
インデックスファンド：8.4%

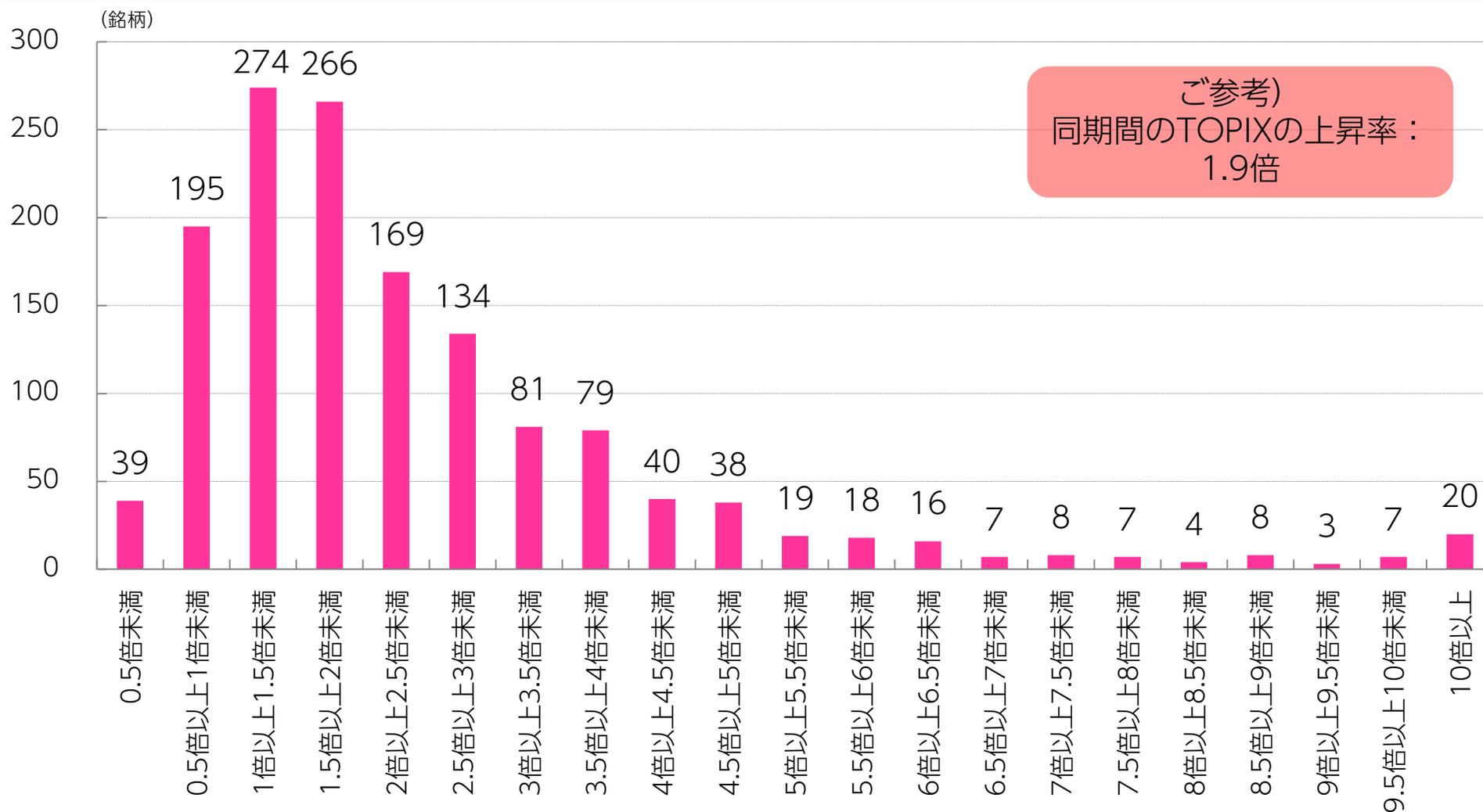
＜年率平均リターン＞
アクティブファンド：9.5%
インデックスファンド：11.3%

出所) Fundmarkのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
2019年12月末時点の10年累積リターンのデータを使用。勝ち負けの判断は各資産のインデックスファンドの10年累積リターンの平均値との比較に基づく。
日本株式アクティブ：Fundmark分類が国内株式のファンド（インデックス型除く）、日本株式インデックス：TOPIXをベンチマークとするファンド
先進国株式アクティブ：Fundmark分類が海外株式/グローバルのファンド、先進国株式インデックス：MSCIコクサイインデックスをベンチマークとするファンド（通貨選択型、為替ヘッジ型は除く）

日本株ではアクティブファンドの方が有利



TOPIX構成銘柄の株価上昇率の分布



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
2009年12月末時点のTOPIX構成銘柄のうち、2019年12月末時点のTOPIX構成銘柄と重複する1,432銘柄のデータを使用
各銘柄の2009年12月末の株価と2019年12月末の株価を比較



アクティブファンドとインデックスファンドの商品例



アクティブファンド げんせん投信

Find us on Facebook
げんせん投信

げんせん投信
げんせん投資セミナー
げんせん投資トークセッション
げんせん投資運用タイムズ

未来が楽しくなってきた。
げんせん投信

ここがポイント



- ✓ 初心者でも安心！セミナーで運用の中身が知れる！
- ✓ Facebookや特設サイトなどファンドの情報が充実！
- ✓ ファンドマネジャー独自の運用方針で投資銘柄を厳選！

インデックスファンド 購入・換金手数料なしシリーズ

こだわりのインデックスファンド
購入・換金手数料なしシリーズ

LINE Facebook Twitter NISSAY INDEX FUND

こだわりのインデックスファンド
購入・換金手数料なしシリーズ

手数料
0円

- 1 シンプルで分かりやすい
ファンドがよい
- 2 さまざまな資産・地域
から選びたい
- 3 コストはできるだけ
抑えたい

あなたの資産運用計画に **ぴったりハマる!**

ここがポイント



- ✓ ファンドの中身がシンプルで分かりやすい！
- ✓ 手軽に分散投資ができる！
- ✓ 5回に亘る信託報酬率の引き下げで低コストを実現！

アクティブファンドとインデックスファンドで大きく異なるポートフォリオ



● 日本株アクティブファンド げんせん投信

マザーファンド組入銘柄数：50銘柄

＜マザーファンドの組入上位10銘柄 2019年12月末時点＞

	銘柄	比率
1	伊藤忠商事	4.1%
2	T&Dホールディングス	3.9%
3	信越化学工業	3.7%
4	カシオ計算機	3.5%
5	ニチアス	3.3%
6	TOTO	3.1%
7	ダイキン工業	3.1%
8	日本電産	3.0%
9	日揮ホールディングス	2.9%
10	スシローグローバルホールディングス	2.9%

※対組入株式評価額比

● 日本株インデックスファンド ＜購入・換金手数料なし＞ TOPIXインデックスファンド

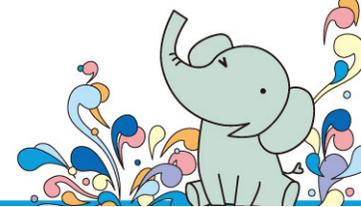
TOPIXの算出対象銘柄数：2,154銘柄

＜マザーファンドの組入上位10銘柄 2019年12月末時点＞

	銘柄	比率
1	トヨタ自動車	3.5%
2	ソニー	1.9%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.7%
4	ソフトバンクグループ	1.5%
5	日本電信電話	1.5%
6	武田薬品工業	1.5%
7	キーエンス	1.4%
8	リクルートホールディングス	1.2%
9	三井住友フィナンシャルグループ	1.1%
10	任天堂	1.1%

※対組入株式評価額比

※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。



げんせん投信の運用の特徴



1

日本企業の株式に投資します。

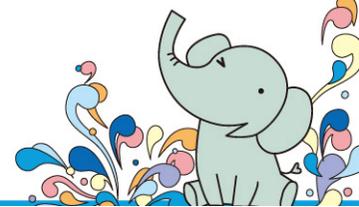
- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合には、株式の実質組入比率を引下げることがあります。
- 株式の実質組入比率調整のために、株価指数先物取引等を活用します。

2

長期的な観点から、収益力向上により株価上昇が期待される銘柄に“厳選（げんせん）”して投資します。

3

財務データとして確認できる情報だけではなく、企業の競争力の“源泉（げんせん）”である経営力・組織力などの「目に見えない資産」を重視して銘柄選定を行います。



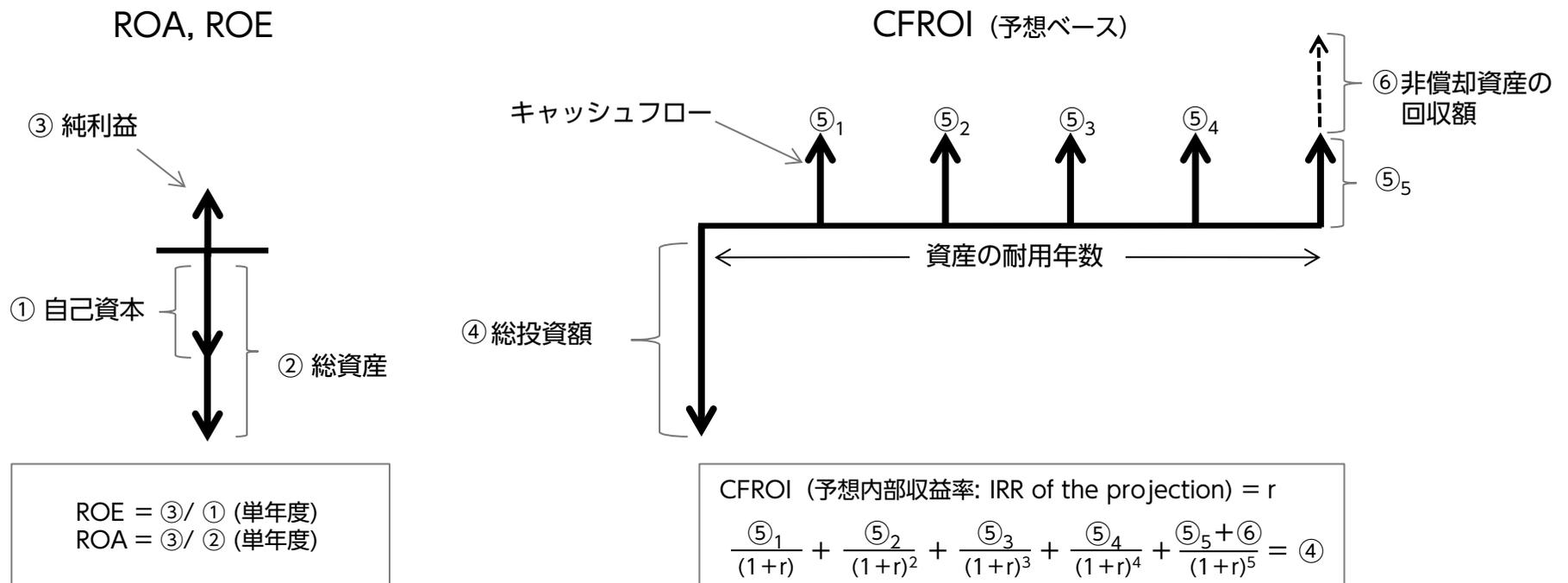
企業価値（株価）って何からできてるの？

株価は、需給や市場心理などにより短期的に変動しますが、長期的な企業の株価をあらわすものは将来の収益性と
考えています。

長期の株式投資に不可欠なCFROI※

- ✓ ROEは重要な指標であるが、単年度の会計上の利益を基準にしたものであり、株価の割高・割安を必ずしも全て判断できない
- ✓ 長期のキャッシュフローを予想することで企業の本源的価値を算出し、割高・割安を判断することが株式投資には必要で、長期のキャッシュフロー予想に基づいたCFROIに着目する必要があると考える

※CFROI：キャッシュフロー投下資本利益率。投資に対し、どの程度のキャッシュフローを生み出しているかを示す



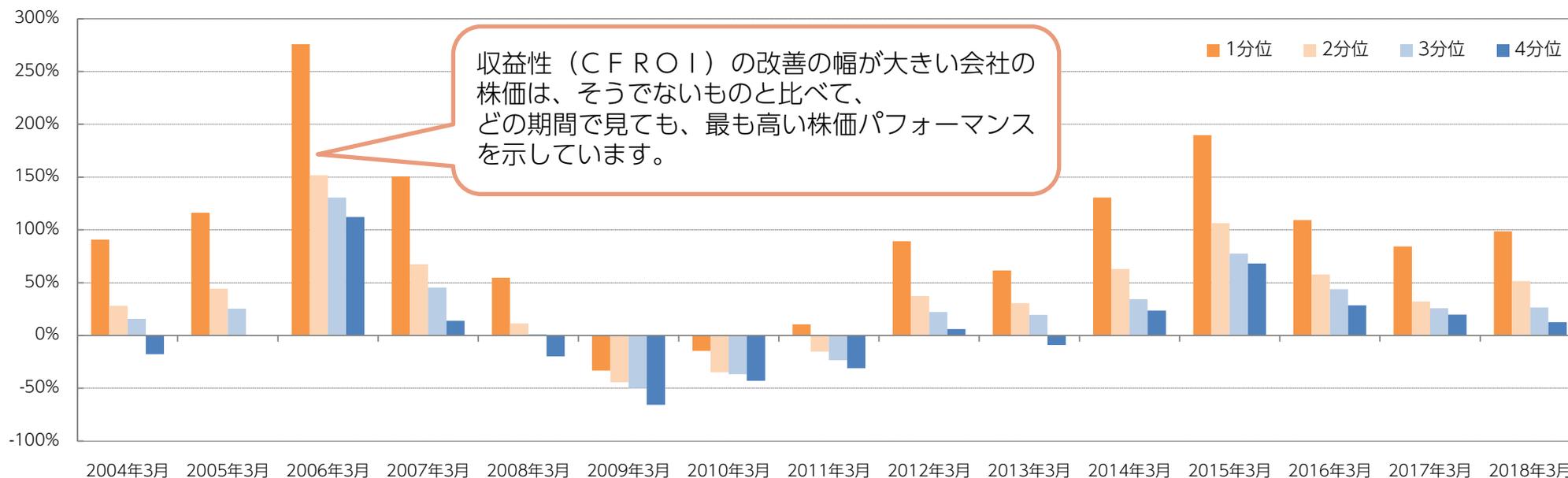
将来の収益力向上が予想される銘柄に厳選投資



株価は、需給や市場心理などにより短期的に変動しますが、長期的な企業の株価をあらわすものは将来の収益性と考えています。

そのため、げんせん投信は、将来の収益力向上が予想される銘柄に厳選投資します。

S V S モデルにおけるCFROIの改善幅（4分位）と株価パフォーマンス



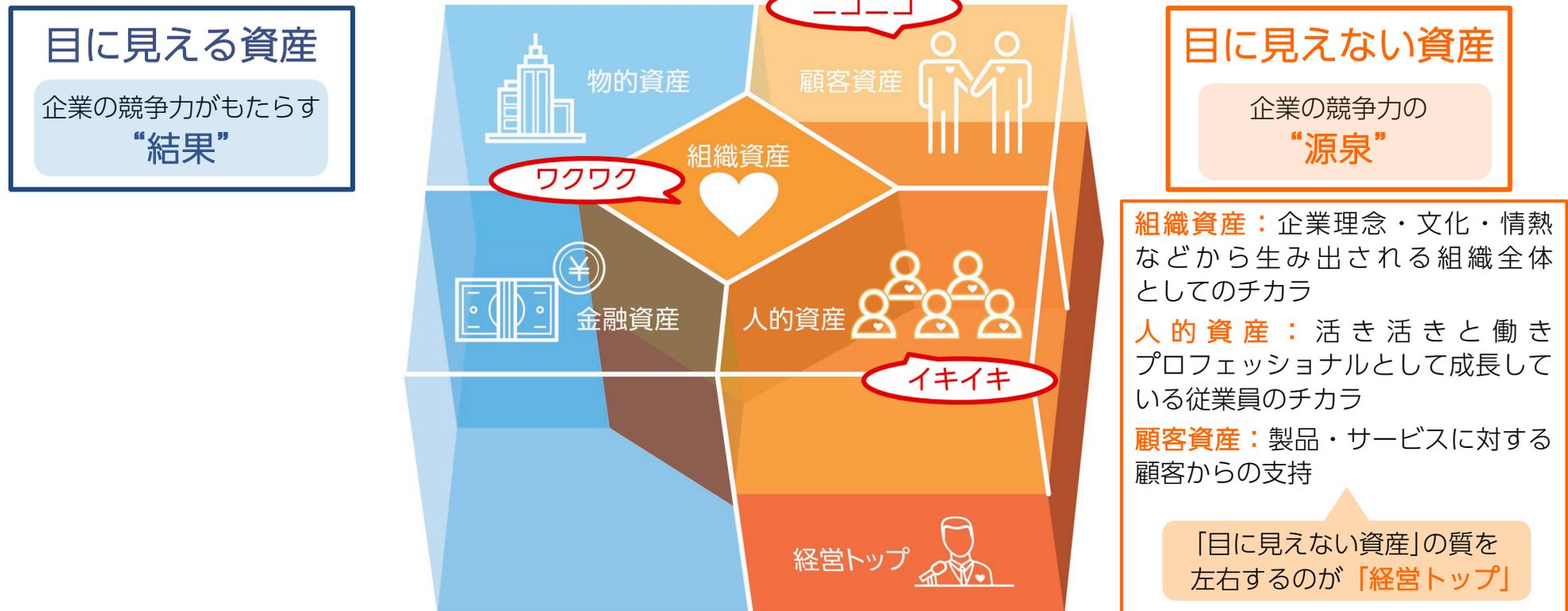
- ※CFROI：キャッシュフロー投下資本利益率。投資に対し、どの程度のキャッシュフローを生み出しているかを示す。
- ※S V S カバレッジ銘柄を使用したバックテスト。各年の直近3年のCFROIの改善幅が高い順に4分位に分け、同期間の株価パフォーマンスを測定。グラフは毎年リバランスした場合のパフォーマンス。
- ※S V S モデル：株価は一株当たり株主価値で合理的に説明できるという（ニッセイアセットの株式投資に対する）考え方に基づく投資で、企業調査からバリュエーション評価・株価レーティング付与までの企業評価プロセス全体をさします。

収益性の予想の精度を高める「目に見えない資産」の分析



げんせん投信は、将来の収益力を決める、企業の競争力の“源泉”は「目に見えない資産」であると考えています。企業活動の“結果”である財務諸表の分析だけでなく、「目に見えない資産」を評価することにより、収益性の予想の精度を高められると考えます。

企業の競争力の“源泉”と“結果”（「目に見えない資産」と「目に見える資産」）



※上記はバリュークリエイト社の企業価値評価のフレームワークをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したイメージ図です。

企業の競争力の源泉、「目に見えない資産」とは？



3つの「目に見えない資産」と2つの「目に見える資産」は密接に連動しています。

金融資産（図表⑤）の原資は、顧客が製品・サービスに支払ってくれる対価です。製品・サービスが顧客にとって魅力的でなければ顧客資産（同③）は増えません。製品・サービスを魅力的にするためには顧客資産を生み出すための設備、機械、店舗などの物的資産（同④）を強化する必要があります。それは単に設備等を購入するだけで十分ではなく、従業員のやる気、サプライヤーやサポーターの協力を必要とします。これが人的資産（同②）です。そして、人的資産はトップのリーダーシップ、会社が打ち出す戦略、企業や製品・サービスの持つブランド力、業務をサポートするあらゆるシステムによってその力を発揮できます。このように従業員やサプライヤー、サポーターの働き方に大きな影響を与えるものを総称して組織資産（同①）として重視しています。

企業価値創造のプロセス

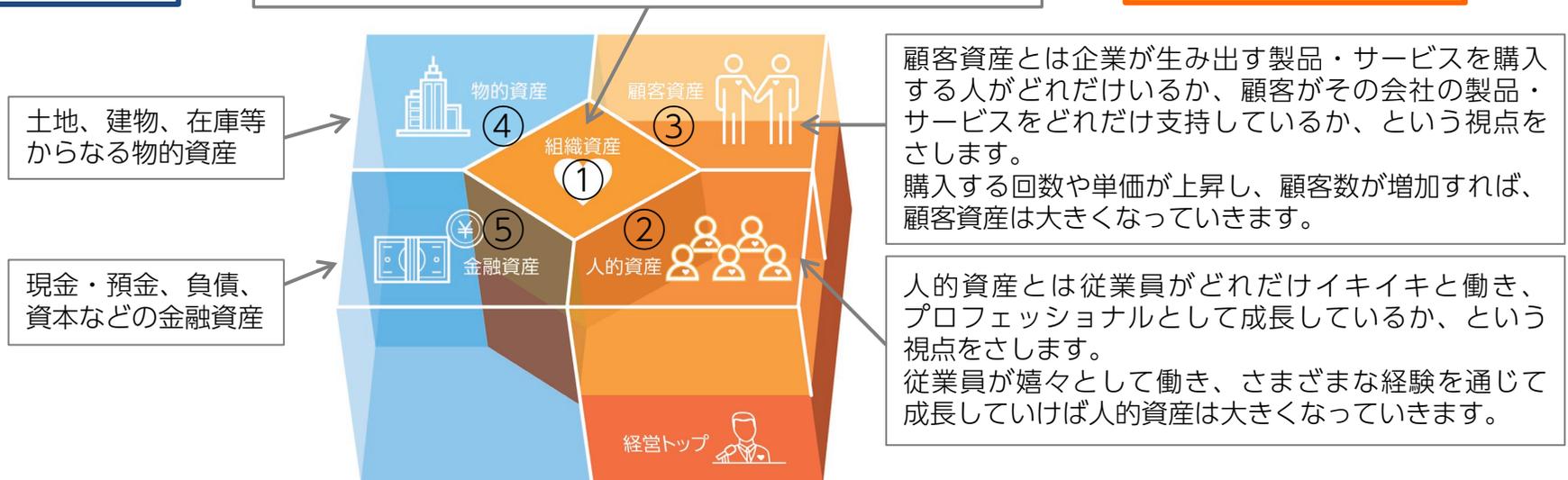
目に見える資産

企業の競争力がもたらす
“結果”

組織資産とは企業で共有されている組織全体の力をさします。個々の企業には各々の企業らしさや強みがあり、そこに磨きをかけることができれば、組織資産は大きくなっていきます。しかし、企業が当初持っていた情熱を忘れ、無気力になっていくと組織資産は小さくなっていきます。

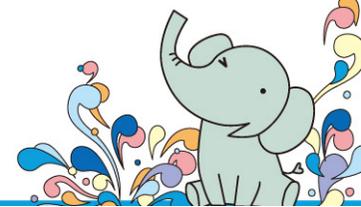
目に見えない資産

企業の競争力の
“源泉”



※上記はバリュークリエイト社の企業価値評価のフレームワークをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したイメージ図です。

「人的資産」とは？



人的資産が大きい状態

従業員が、会社の文化や戦略を理解、共感している

イキイキとしたやる気のある従業員が、顧客の要望に合わせて製品・サービスをつくり、改善していく

顧客の製品・サービス、ブランドへの支持が高まる
企業の文化や戦略に対して共感している



人的資産が小さい状態

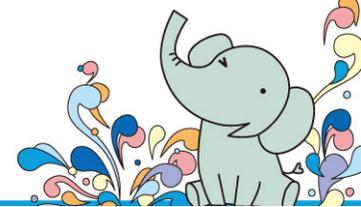
従業員が、会社の文化や戦略を理解していない、
分かっているけど背を向けている

従業員のやる気が無くなる、組織が疲弊する、
官僚主義的になる

製品・サービスが顧客から支持されない
企業の文化やブランドへの共感が無い

同じ年収の社員でも、
イキイキ度によって**生産性**に大きな違い！

「顧客資産」とは？



顧客資産が大きい状態

顧客が、企業の製品・サービス、ブランドを支持している
企業の文化や戦略に対して共感している

値上げや製品・サービスのリニューアルがあっても、
ずっと支持してくれる可能性が高い

将来得られる売上・利益が大きくなることが期待できる



顧客資産が小さい状態

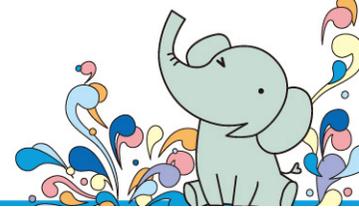
顧客が、価格が安いから購入している
他にもっと満足できる製品・サービスがないため
購入している

値上げをしたり、他社でもっと満足できる製品・
サービスが販売されたら、支持しなくなる可能性が高い

将来得られる売上・利益が小さくなる可能性がある

同じ売上の企業でも、
ニコニコ度によって**顧客満足度**に大きな違い！

げんせん投信の運用体制



約20名のアナリストが、ポートフォリオマネジャーに対して、銘柄推奨、業績予想、期待リターン、レーティングの提供に加え、毎月「GENSENスコア」※を提供しています。

※「GENSENスコア」：組織資産、人的資産、顧客資産という「目に見えない3つの資産」と「社長」の評価を点数化したもの。

株式運用部

伊藤 琢
チーフ・
ポートフォリオ・
マネジャー

毎月、GENSENスコアを作成・提供

担当企業の銘柄推奨、業績予想、
期待リターン、レーティング等
を提供

投資調査室 他

業種担当アナリスト

機械・卸売、金融、公益、情報通信（IT）、小売、サービス 他

ESG※、対話、中小型、グローバル、アジア、欧州拠点担当アナリスト

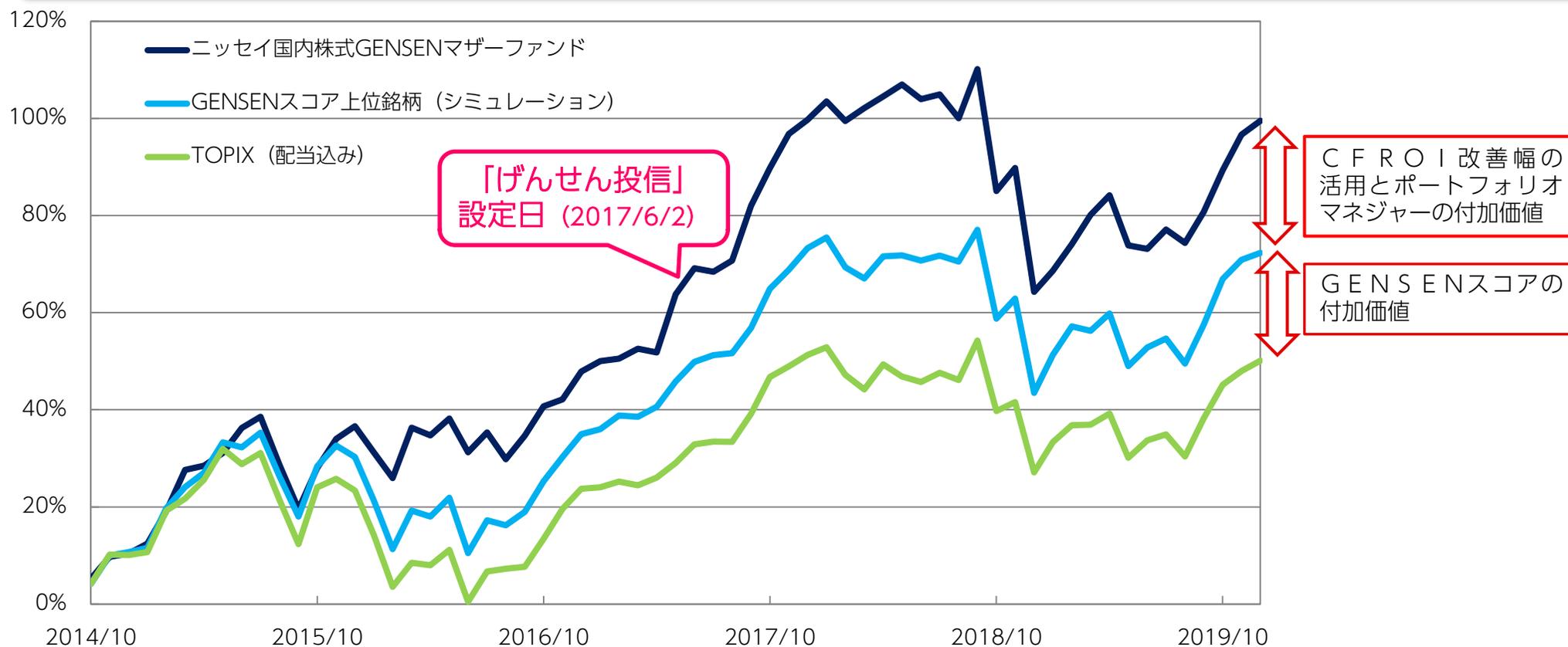
※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとったものです。ESGに対して優れた取組みを行う企業は持続的な成長が期待されます。



げんせん投信のマザーファンドのパフォーマンス



マザーファンドのリターンの推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間: 2014年10月末~2019年12月末 (月次) TOPIXの起点はマザーファンド設定日の前日 (2014年10月2日)

※上記は、当ファンドのマザーファンドであるニッセイ国内株式GENSENマザーファンドのデータを使用しています。当ファンドの実際のパフォーマンスとは異なります。
当ファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※GENSENスコア上位銘柄 (シミュレーション) : GENSENスコアの中央値(2.5)より高得点の銘柄で構成されるポートフォリオのパフォーマンス (対象銘柄に均等投資を行い、月次でリバランスした場合のシミュレーション、配当除き)

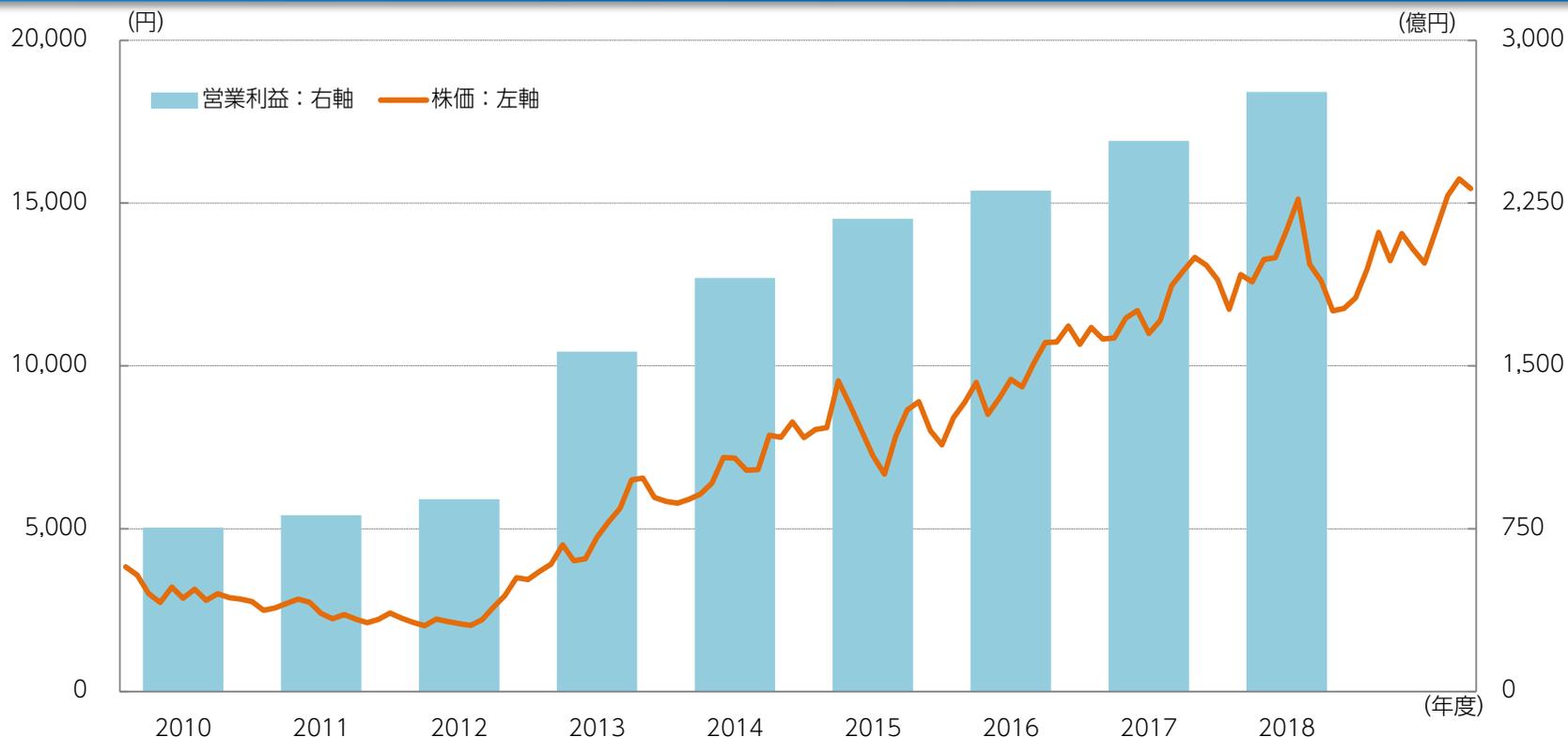
銘柄選定事例：ダイキン工業



ダイキン工業 (6367)

空調事業で世界最大手。1951年に日本初のパッケージ型エアコンを開発。米州、アジア、欧州と世界展開を行っており、販売力の強化、グローバル調達や部品の内製化によるコストダウン、高付加価値製品の開発など、競争力強化にまい進中。

株価と営業利益の推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間) 株価：2010年3月末～2019年12月末 (月次)、営業利益：2010年度～2018年度 (年次)

※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。

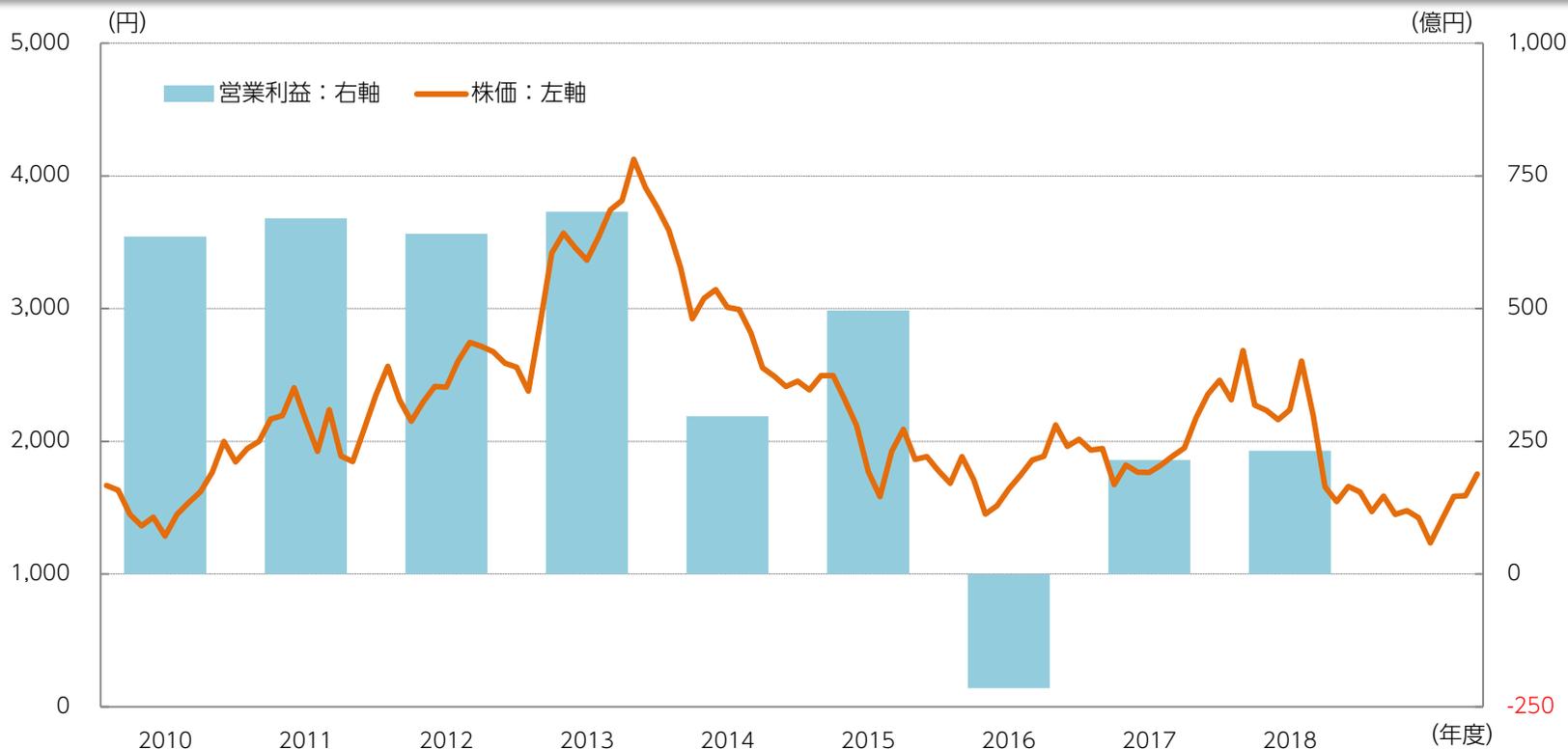
銘柄選定事例：日揮ホールディングス



日揮ホールディングス（1963）

総合エンジニアリング国内首位、世界各国で事業を展開。石油・ガス、化学、発電等の大型プラント建設に強みがある。中長期的に受注は回復局面にあり、同社の業績回復が期待される。

株価と営業利益の推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間) 株価：2010年3月末～2019年12月末（月次）、営業利益：2010年度～2018年度（年次）
※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。

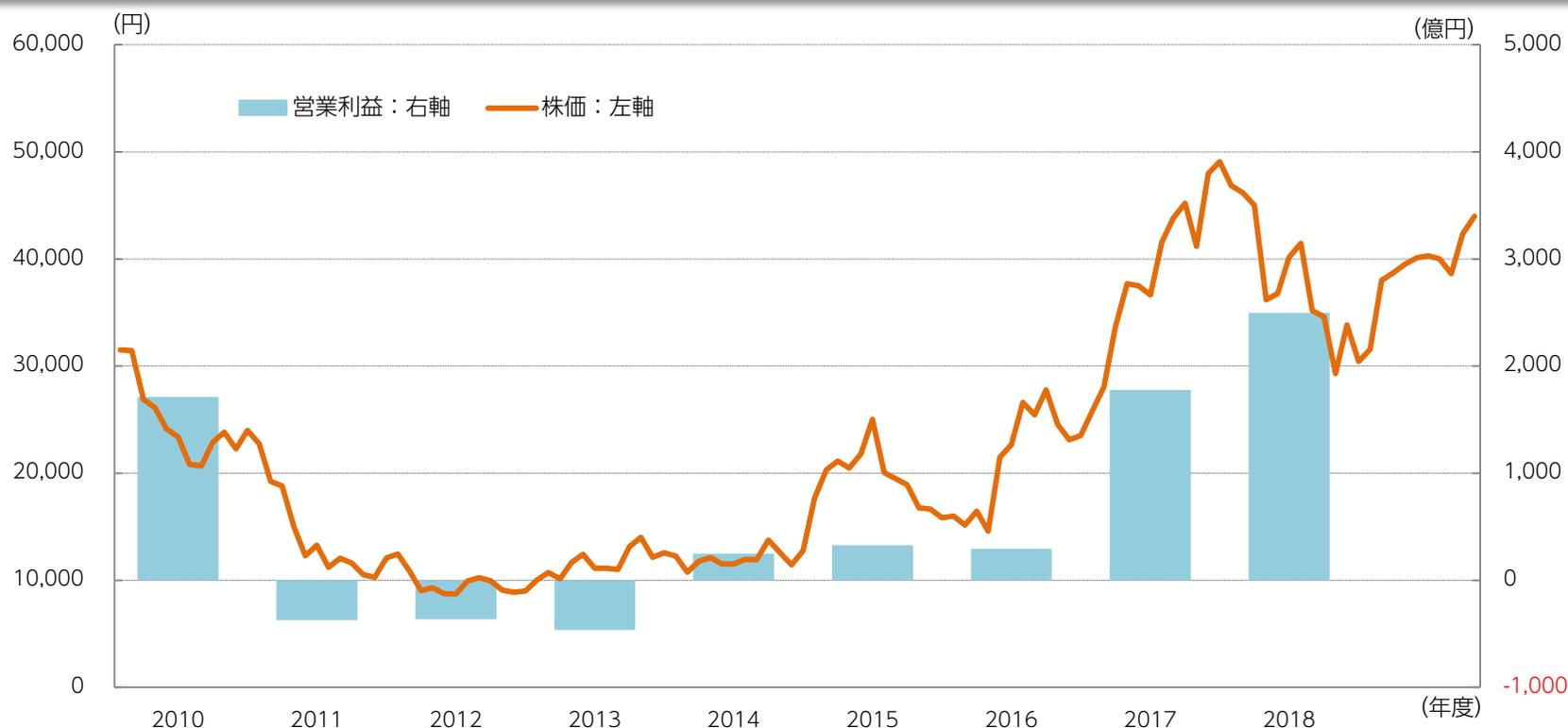
銘柄選定事例：任天堂



任天堂 (7974)

家庭用レジャー機器の製造・販売を国内外で展開。3期連続営業赤字の時も決算説明会の場で「任天堂らしさを守る」ことの重要性を述べていたことから、当ファンドでは「目に見えない資産」を高く評価。低迷期の2014年よりマザーファンドに組入れた。

株価と営業利益の推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間) 株価：2010年3月末～2019年12月末 (月次)、営業利益：2010年度～2018年度 (年次)

※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。

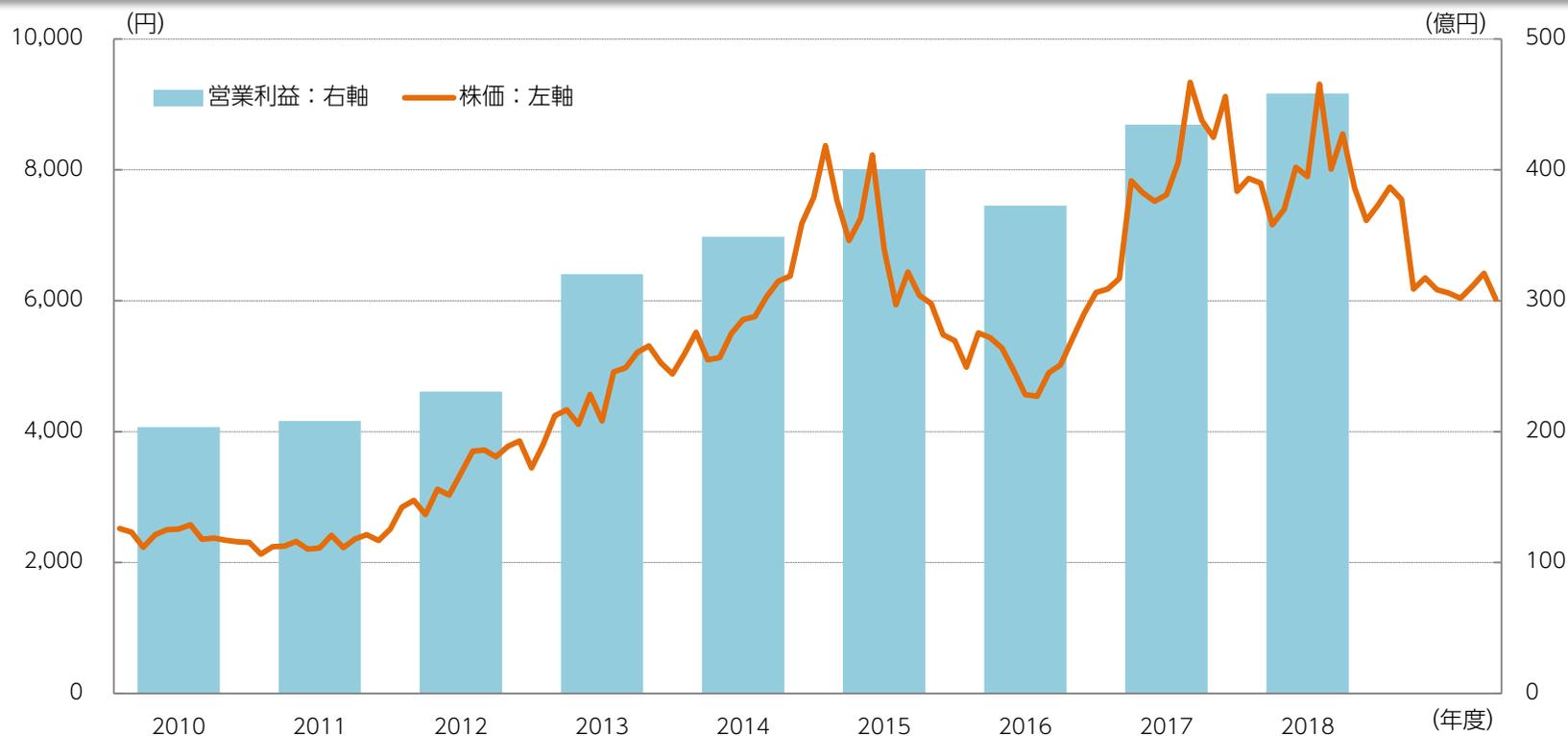
銘柄選定事例：ヤクルト本社



ヤクルト本社 (2267)

1930年に乳酸菌が腸内の悪い菌を抑えることを発見、それを強化培養することに世界で初めて成功し「ヤクルト」が誕生。現在ではアフリカを除くすべての大陸へ海外進出しているが、海外でも現地でヤクルトレディを養成し、直接販売を主軸に事業を展開。

株価と営業利益の推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間) 株価：2010年3月末～2019年12月末 (月次)、営業利益：2010年度～2018年度 (年次)
※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。

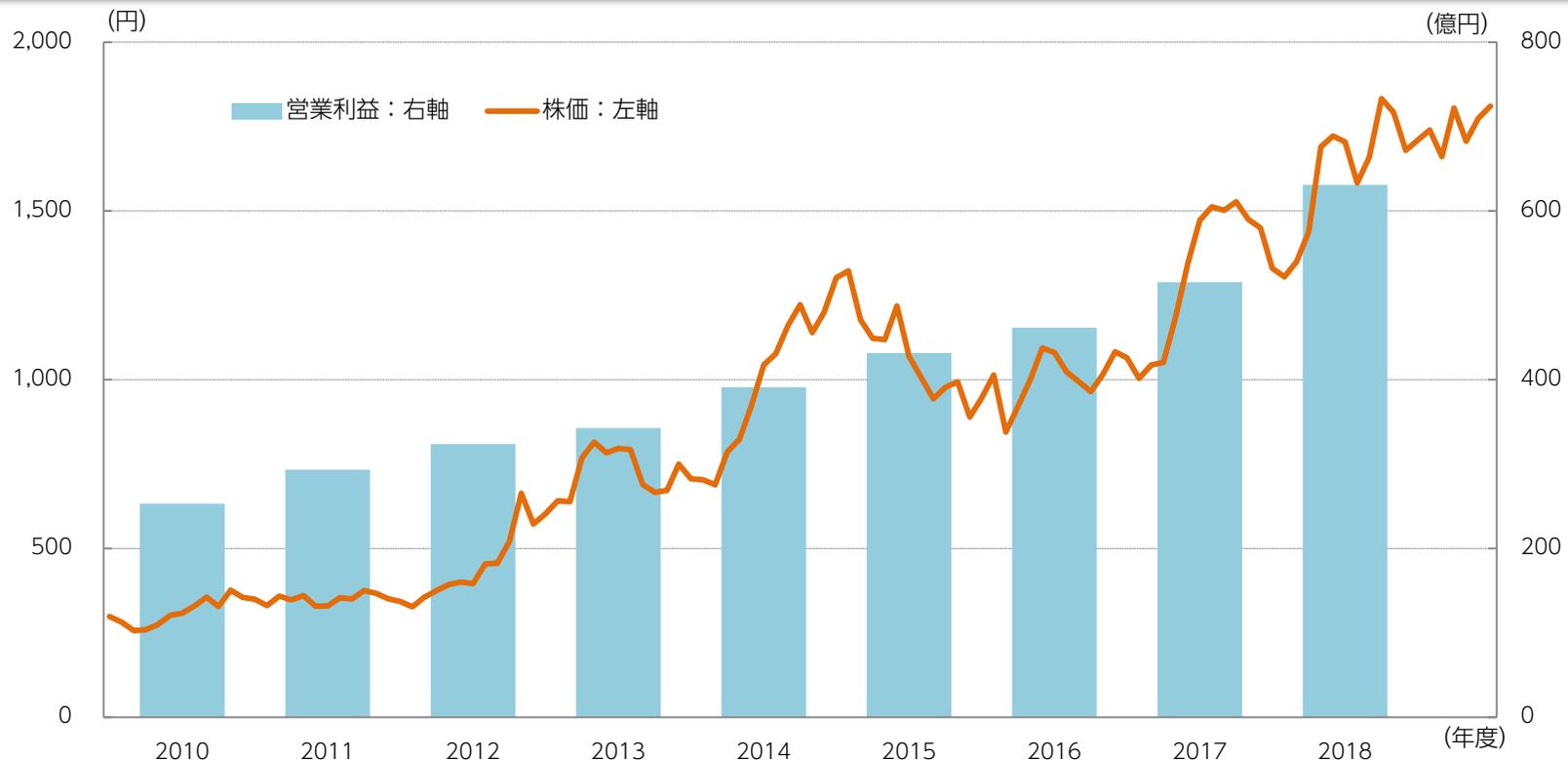
銘柄選定事例：パン・パシフィック・インターナショナルHD



パン・パシフィック・インターナショナルHD (7532)

総合ディスカウント店「ドン・キホーテ」などを全国展開する大手小売企業。徹底した「現場主義」のもと、顧客に一番近い現場に業務権限を与えている。近年では、大手GMS（総合スーパー）との業務提携や海外進出など、新たなチャレンジを開始。

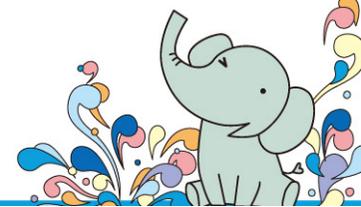
株価と営業利益の推移



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間) 株価：2010年6月末～2019年12月末（月次）、営業利益：2010年度（2011年6月期）～2018年度（2019年6月期）（年次）

※特定の銘柄を推奨するものではなく、また今後の当該銘柄の組入れを保証するものではありません。

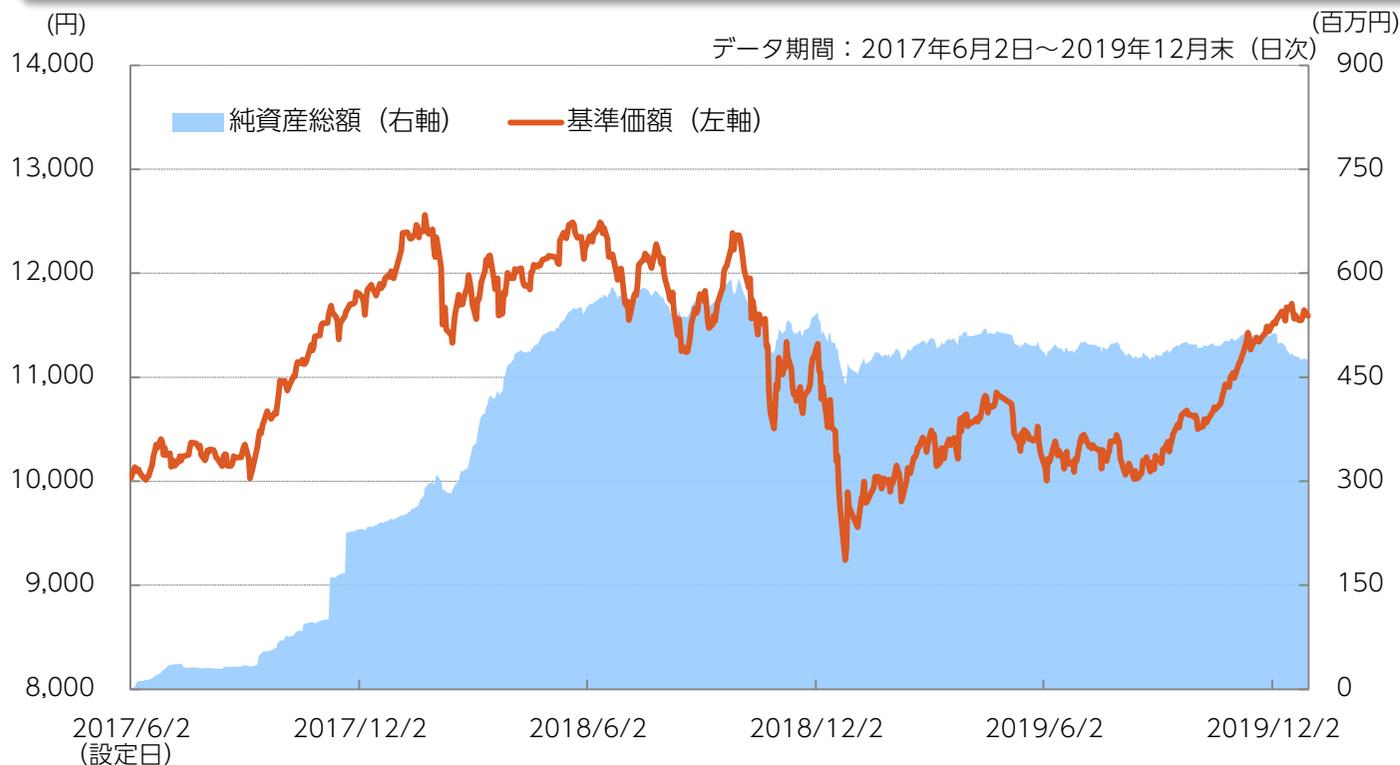


げんせん投信の運用状況

げんせん投信の運用状況 (2019年12月末時点)



基準価額・純資産の推移



分配の推移（1万口当り、税引前）

第1期	2017年8月	0円
第2期	2018年8月	0円
第3期	2019年9月	0円
第4期	2020年8月	—
第5期	2021年8月	—
第6期	2022年8月	—
第7期	2023年8月	—
直近1年間累計		0円
設定来累計額		0円

【ファンドの運用状況について（12月末基準）】

当月末の基準価額は11,591円となり、前月末比+151円となりました。また、月間の基準価額騰落率は+1.32%となり、TOP I X（配当込み）（参考指数）騰落率（+1.45%）を下回りました。

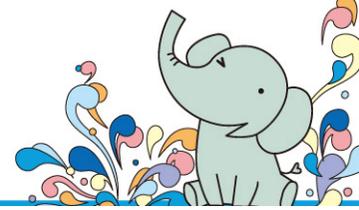
組入銘柄では、T&Dホールディングス（保険業）、日揮ホールディングス（建設業）、スシローグローバルホールディングス（小売業）などが堅調に推移する一方で、サンバイオ、日本新薬（いずれも医薬品）、日本電産（電気機器）などが軟調に推移しました。

当月の主な売買としては、SREホールディングス（不動産業）を新規で組み入れました。同社は日本ではまだ黎明（れいめい）期にある不動産テック（IT（情報技術）で不動産取引を効率化する）分野において先行しており、中長期的に高成長が続くと考えました。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります（個人受益者の場合）。

げんせん投信のポートフォリオの特徴 (2019年12月末時点)



組入比率 (ベビーファンド)

株式	95.5%
うち現物*	95.5%
うち先物	—

※対純資産総額比

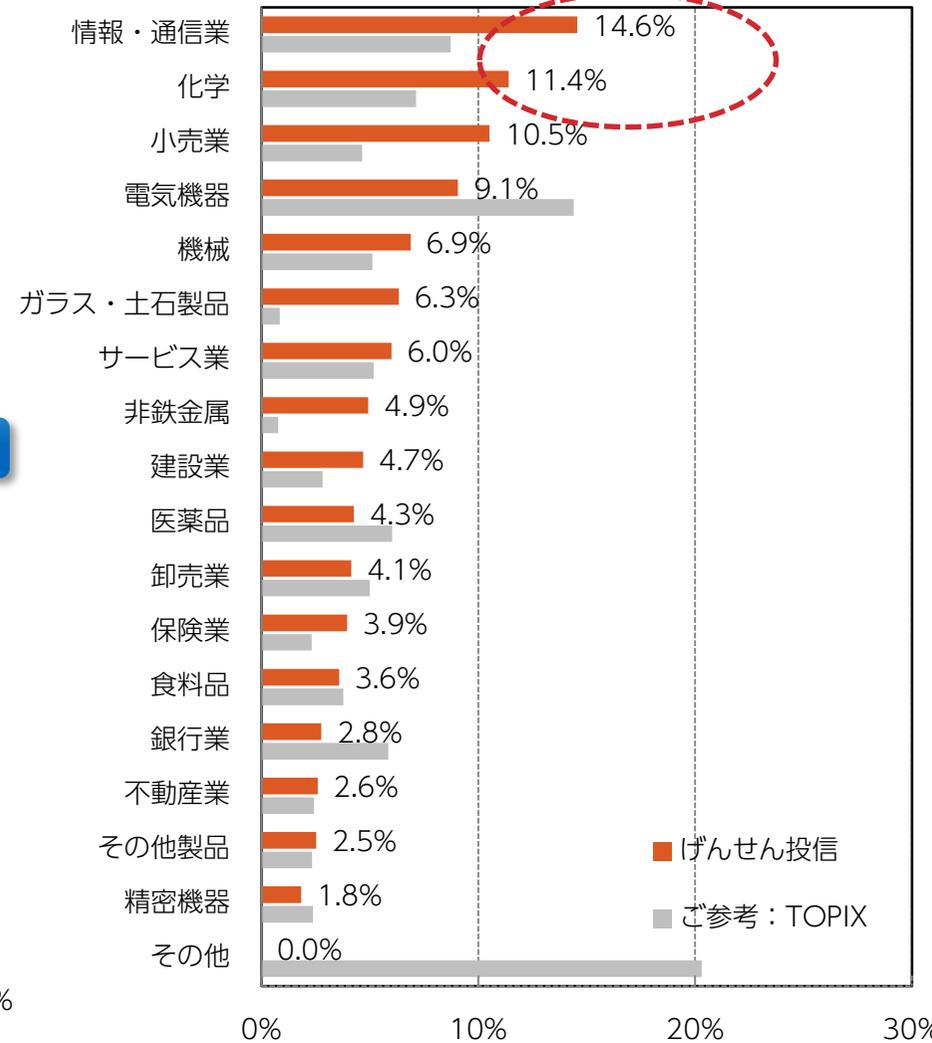
*当ファンドは、マザーファンドを通じて実質的に株式に投資しています。

市場別組入比率 (マザーファンド)

市場区分	銘柄数	比率
1部上場	44	90.3%
2部上場	1	2.0%
ジャスダック	-	-
その他	5	7.7%
合計	50	100.0%

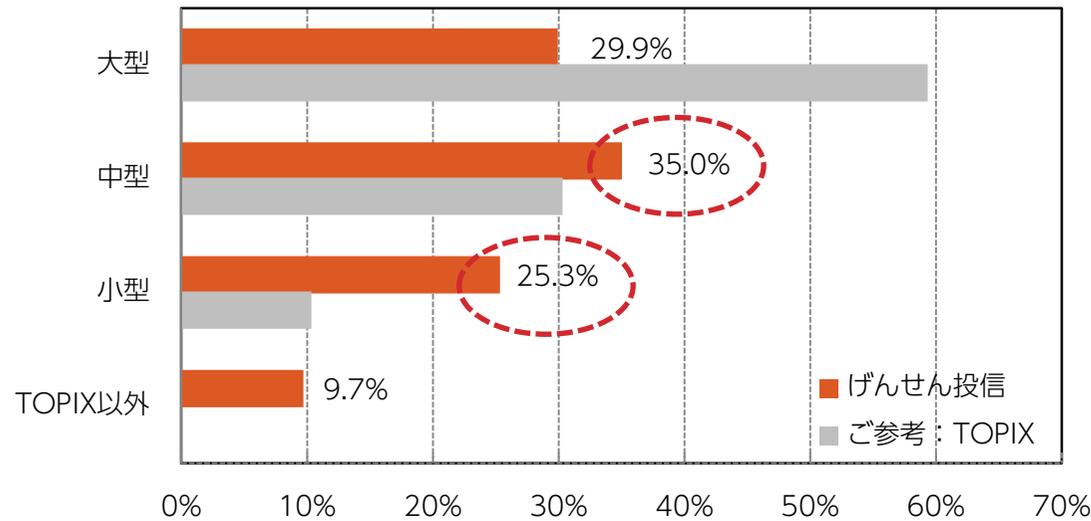
※対組入株式評価額比

業種別構成比 (マザーファンド)



※対組入株式評価額比

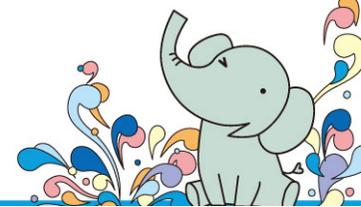
サイズ別組入比率 (マザーファンド)



※対組入株式評価額比

大型：TOPIX100 中型：TOPIX Mid400 小型：TOPIX Small

ご参考：げんせん投信のマザーファンドの運用状況



基準価額の推移

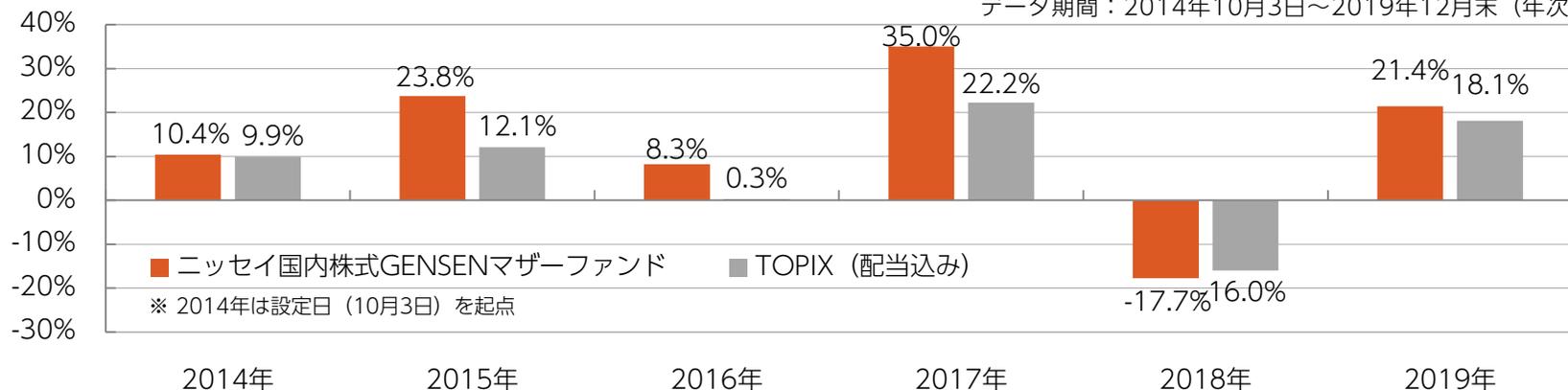
(基準価額：円)

データ期間：2014年10月3日～2019年12月末（日次）



年次騰落率の比較

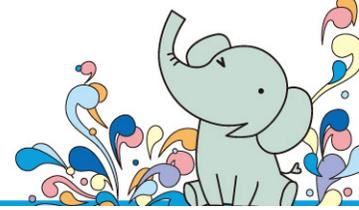
データ期間：2014年10月3日～2019年12月末（年次）



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

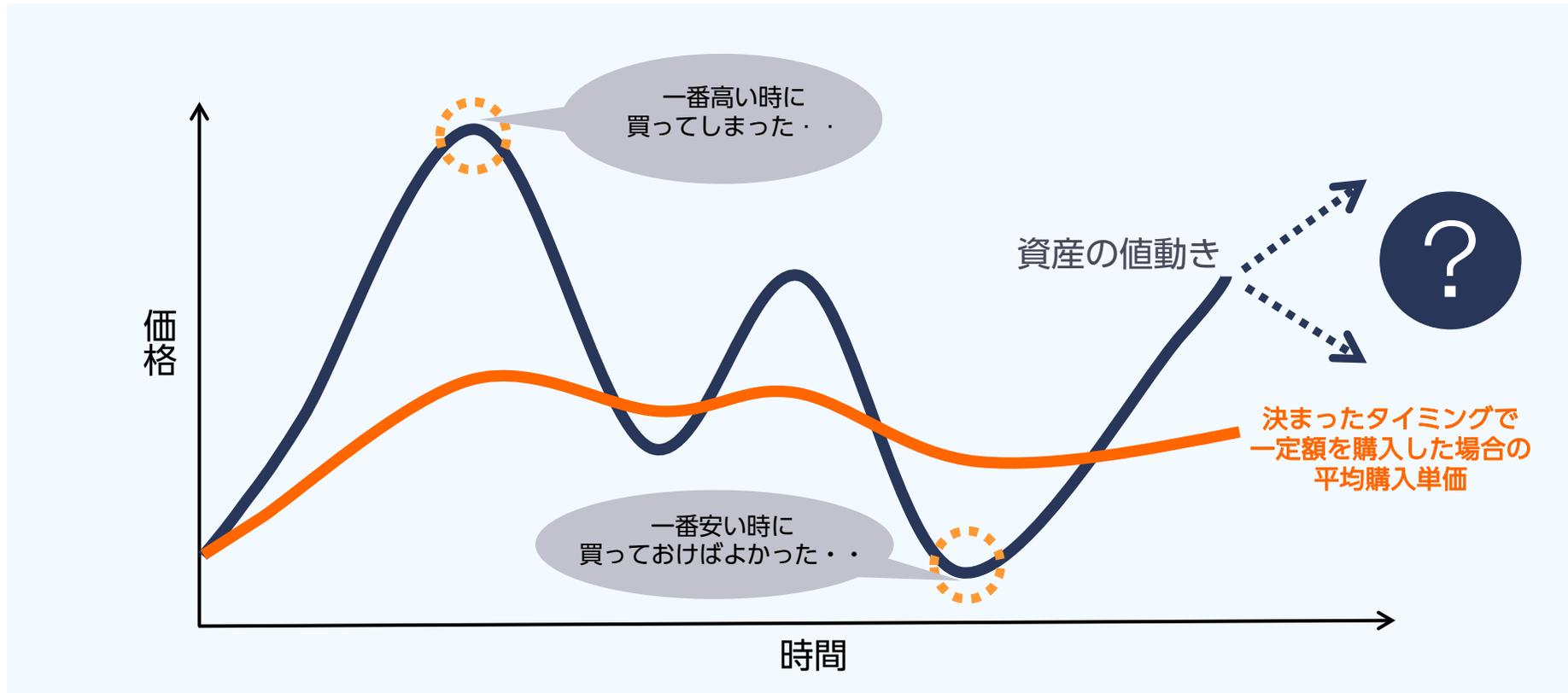
上記は、当ファンドのマザーファンドであるニッセイ国内株式GENSENマザーファンドのデータを使用しています。当ファンドの実際のパフォーマンスとは異なります。当ファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

ご参考：投資信託を時間分散で購入するメリット



安い時、高い時などタイミングを狙って投資をするのは非常に難しいことです。
そこで一度に投資するのではなく、何回かに分けて購入のタイミングを分散させることによって、高い時に買いすぎたり安い時に買い損ねたりすることを避け、購入単価を平均化する効果が期待できます。

ある資産を時間分散で購入した場合（イメージ図）

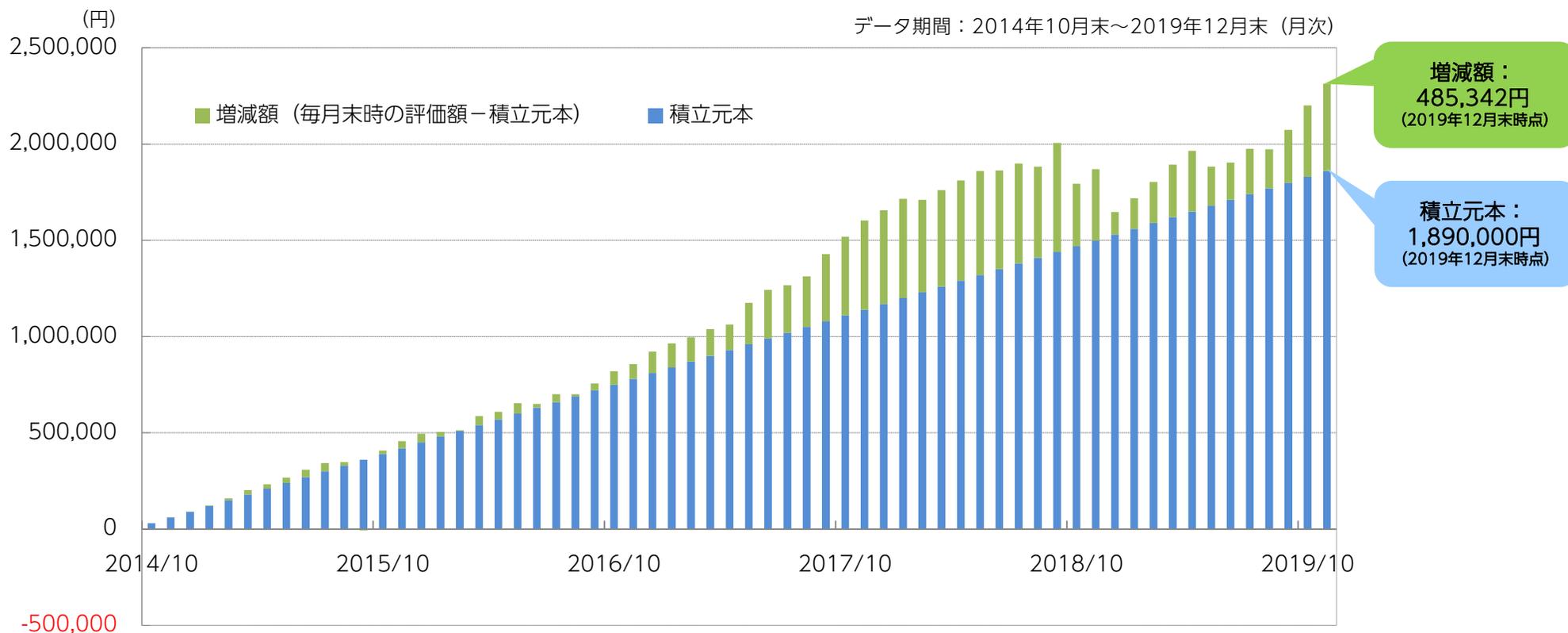


出所) 投資信託協会資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成
※上記は時間分散のイメージをご理解いただくために作成したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。

ご参考：マザーファンドの積立シミュレーション



シミュレーション（毎月3万円を月末に積立てした場合）

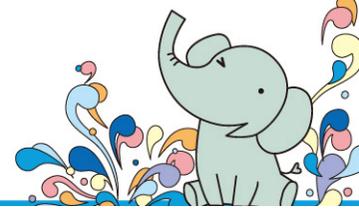


【条件】

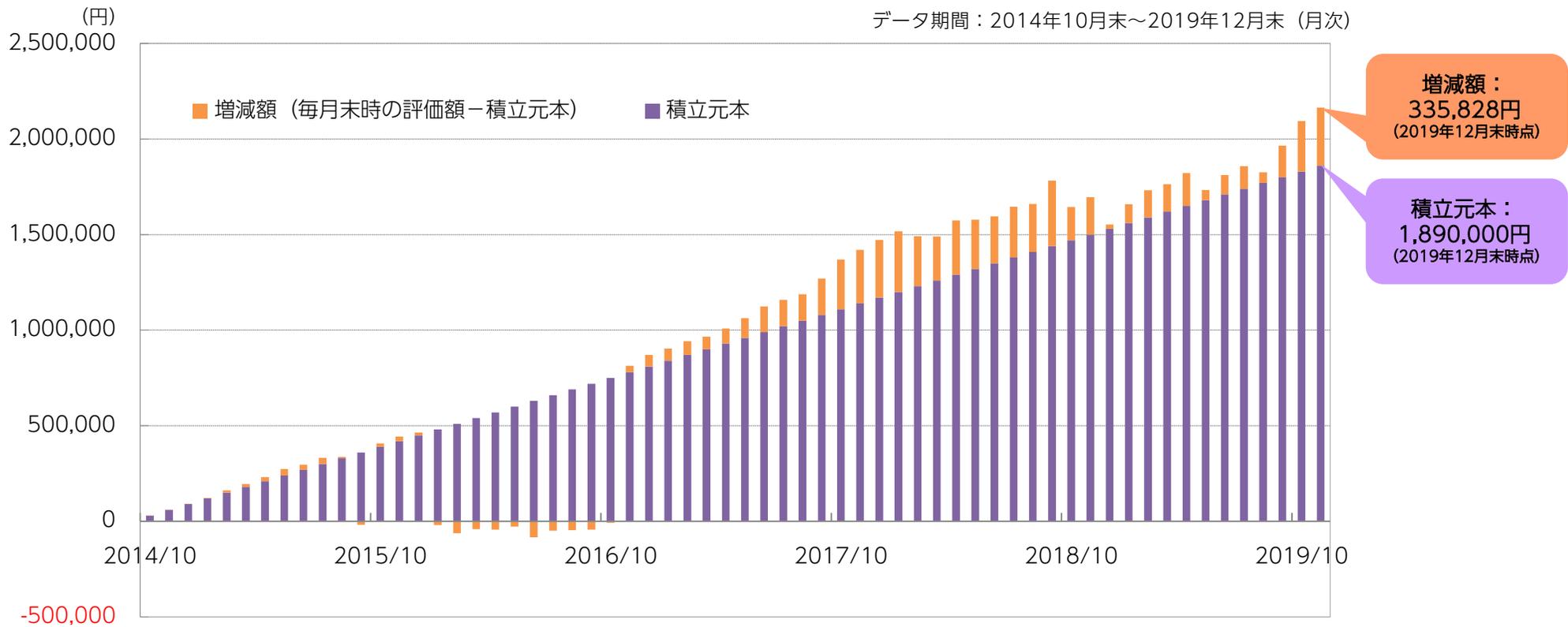
- ・投資期間：2014年10月末（マザーファンド設定月）～2019年12月末
- ・毎月末最終営業日、マザーファンドに3万円を投資
- ・購入時手数料なし、信託財産留保額なし
- ・信託報酬（年率、税込）1.0175%、監査費用（年率、税込）0.011%
- ・基準価額（信託報酬（年率、税込）、監査費用（年率、税込）が月々控除された価格）をベースに作成

※上記は、当ファンドのマザーファンドであるニッセイ国内株式GENSENマザーファンドのデータを使用しています。当ファンドの実際のパフォーマンスとは異なります。上記は、シミュレーションであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

ご参考：TOPIXの積立シミュレーション



シミュレーション（毎月3万円を月末に積立てした場合）



【条件】

- ・投資期間：2014年10月末～2019年12月末
- ・毎月末最終営業日、TOPIX（配当込み）に3万円を投資
- ・購入時手数料なし、信託財産留保額なし
- ・信託報酬なし、監査費用なし

※上記は、シミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

今後のセミナーのご案内



セミナーのお申込はこちら！

<https://www.nam.co.jp/semiinfo/index.html>

ニッセイアセット セミナー

で検索

■ 「短時間で資産運用について学びたい！」という方におすすめ！

2/5(水) 18:30～19:30 講師：げんせん部員、伊藤チーフ・ポートフォリオ・マネジャー

「ニッセイはインデックスファンドだけじゃない！

アクティブファンドの本当の魅力」

■ 「ファンドマネジャーから“げんせん投信”の魅力をたっぷり聞きたい」という方におすすめ！

2/19(水) 19:00～20:30 講師：伊藤チーフ・ポートフォリオ・マネジャー

「げんせんトークラウンジ」

2月のテーマ：『インデックスファンドvsアクティブファンド、結局どっちがいいの？』



Facebookのフォローも
よろしくにゃ〜



Facebook公式アカウント

ニッセイアセットのげんせん投信

<https://www.facebook.com/nissayam.gensen/>



「げんせん投信」特設サイト

<https://gensen-fund.jp/>

げんせん投信：投資リスク



※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド（マザーファンドを含みます）は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

その他の留意点

- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合、基準価額の下落リスクの軽減のため、ファンドは株式の実質組入比率を引下げることがあります。このため、以下の事項にご留意ください。
 - ・市場が予期しない値動きをした場合等には、実質組入比率の引下げが効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できない場合、あるいは株式市場の上昇に追随できない場合があります。
 - ・実質組入比率の引下げでは主に株価指数先物取引を利用しますが、ファンドの組入株式と株価指数先物の価格変動率は一致するものではありません。このため、株式の実質組入比率を引下げるため株価指数先物を売建てている際には、組入株式と株価指数先物の値動きの差がファンドの収益の源泉となる場合がある一方、損失となりファンドの資産価値が減少する要因となる場合があります。



げんせん投信：ファンドの費用・取扱販社一覧



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の基準価額に 2.2% (税抜2.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ・料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に信託報酬率をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。 信託報酬率は、ファンドの純資産総額に応じて定まり、以下の通りとします。	
		信託報酬率 (年率)	信託報酬率
		1,000億円超の部分	0.7920% (税抜0.720%)
		500億円超1,000億円以下の部分	0.9075% (税抜0.825%)
	500億円以下の部分	1.0175% (税抜0.925%)	
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

■ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

■ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販社一覧

取扱販売会社名	登録金融機関		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
	金融商品 取引業者	登録金融 機関					
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
松井証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先まで問合せください。

<購入・換金手数料なし>ニッセイTOPIXインデックスファンド： 投資リスク・ファンドの費用



※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド（マザーファンドを含みます）は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、TOPIX（配当込み）の動きに連動することを目標に運用しますので、TOPIX（配当込み）の動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料(1万口当り)	ありません。
換金時	換金時手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率0.154%（税抜0.14%）以内の率をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0011%(税抜0.001%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

■ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

■ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項



- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。記載内容は原則として2019年12月末時点の市場環境等に基づいて作成したものであり、事前の予告なく変更される場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当セミナーでニッセイアセットマネジメントが投資信託商品の説明を行う場合、その説明は、金融商品取引法における「第二種金融商品取引業」の勧誘として行うものです。尚、お客様個別のご事情に適した情報の提供や具体的なご提案、販売や申し込みの手続きは販売会社が行います。
- 投資を行う際は販売会社より十分な商品説明を受け、最終決定はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

<分配金に関する留意事項>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



ニッセイアセットマネジメント

コールセンター 0120-762-506

(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます)

ホームページ <https://www.nam.co.jp>